

平成24年度 地方独立行政法人岐阜県立多治見病院 決算概要

1 財務諸表の概要

(1)貸借対照表

平成25年3月31日における法人の資産、負債、純資産の状況を表示

【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	139.1 億円	固定負債	94.7 億円
土地	12.0 億円	流動負債	27.0 億円
建物	106.1 億円		
流動資産	82.9 億円		
現金及び預金	56.8 億円		
計	222.0 億円	計	222.0 億円

(2)損益計算書

平成24年度における法人の収益とこれに対応する費用を記載し、当期純利益を表示

収益総額	157.3 億円
営業収益	156.1 億円
営業外収益	1.2 億円
費用総額	148.8 億円
営業費用	144.1 億円
営業外費用	4.7 億円
臨時損失	0.04 億円
当期純利益	8.6 億円

* 当期の純利益は、積立金として処分する。

(3)キャッシュ・フロー計算書

平成24年度における現金・預金(キャッシュ)の増減を活動区分別に表示

I 業務活動によるキャッシュ・フロー	20.9 億円
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 19.1 億円
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	4.6 億円
IV 資金増加額	6.4 億円
V 資金期首残高	20.6 億円
VI 資金期末残高	27.0 億円

(4)行政サービス実施コスト計算書

法人の業務運営に関して、行政サービス実施コストに係る情報を集約して表示

I 業務費用	0.8 億円
(1) 損益計算書上の費用	148.8 億円
(2) 自己収入等(控除)	▲ 148.0 億円
II 機会費用	0.5 億円
III 行政サービス実施コスト	1.3 億円

2 収支の状況

(1) 収支概要

平成24年度純利益……857,025千円 →670,804千円(対前年度差額)
 (平成23年度純利益……186,221千円)

・収益については、医療連携の強化による患者数の増加や診療単価の増などにより、前年度比で約7%の増収となった。
 ・費用についても、職員の増員に伴う給与費の増加があったものの、材料費や経費(特に委託料)における価格交渉や契約方法の見直しによる経費削減の努力により前年度比で約3%の増加にとどめることができ、収支差では、前年度を大きく上回る黒字となった。

(2) 前年度比収支状況

(単位:億円)

	H23年度	H24年度	H24-H23	対前年度比	参 考
収益	146.5	157.3	10.8	107%	診療単価 (H23) (H24)
営業収益	144.6	156.1	11.5	108%	入院 55,134円 → 56,928円
うち入院収益	97.7	104.0	6.3	106%	外来 12,689円 → 13,411円
うち外来収益	35.9	39.0	3.1	109%	
うち運営費負担金	6.0	7.8	1.8	130%	患者数 (H23) (H24)
営業外収益	1.5	1.2	▲0.3	80%	入院 177,161人→182,438人
うち運営費負担金	0.8	0.7	▲0.1	88%	外来 282,673人→290,149人
臨時利益	0.5	0	▲0.5	0%	
費用	144.7	148.8	4.1	103%	一般病床利用率 (H23) (H24)
営業費用	138.6	144.1	5.5	104%	85.0% → 85.4%
うち給与費	70.9	73.1	2.2	103%	
うち材料費	33.5	34.9	1.4	104%	
うち経費	22.7	23.7	1.0	104%	
うち減価償却費	11.1	12.0	0.9	108%	
営業外費用	4.4	4.7	0.3	107%	
臨時損失	1.6	0.04	▲1.56	3%	
収支差	1.9	8.6	6.7	-	

(3) 前年度比収支変動の主な要因

ア 営業収益

うち入院収益 (6.3億円増) 診療単価・患者数の増加によるもの
 うち外来収益 (3.1億円増) 診療単価・患者数の増加によるもの
 うち運営費負担金 (1.8億円増) 負担項目の増加によるもの

イ 営業費用

うち給与費 (2.2億円増) 職員の増員によるもの
 うち材料費 (1.4億円増) 手術の増加によるもの
 うち経費 (1.0億円増) 非常勤医師報償費の増加によるもの
 うち減価償却費 (0.9億円増) 高精度放射線治療システム導入に伴う増加によるもの

ウ 臨時損失

H23年度環境対策引当金繰入額の計上等に伴う反動減によるもの (1.56億円減)
 放射線治療棟の建設による駐車場の一部除却によるもの